

環境経営レポート



ジャカランダの森（日南市南郷町 2024年）

2024年6月10日

対象期間 2023年4月～2024年3月

一政建設有限公司

《 目 次 》	1
1. 事業概要	2
1) 事業者名及び代表者名	2
2) 所在地	2
3) 環境管理責任者	2
4) 連絡先	2
5) 対象範囲	2
6) 事業規模	2
7) 推進組織図	2
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営目標	4
4. 環境経営目標の実績	4
5-1. 環境経営計画活動の取組結果とその評価	5
活動紹介(写真).....	6
5-2. 次年度の環境経営目標、環境経営計画	7
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

一政建設有限会社
代表取締役 一政 重文

2) 所在地

〒889-3204 宮崎県日南市南郷町中村乙997番地4

3) 環境管理責任者

EA-21責任者 : 一政 恵子

4) 連絡先

連絡担当者 : 一政 恵子 (EA21責任者)

TEL : 0987-64-0554

FAX : 0987-64-0672

E-mail: ichimasa.k@cpost.plala.or.jp

5) 対象範囲 (認定登録範囲).....全組織・全活動

・対象組織 全社(関連事業所なし)

・対象活動 全活動(建設業)
(土木工事、とび・土工工事、建築工事、大工工事、舗装工事、解体工事)

・対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

6) 事業規模

項目	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
従業員数	8	8	8	8	8	8	8	8	8
工事等の件数	10	10	10	10	10	10	24	20	28
事業所床面積(m ²)	96	96	96	96	96	96	96	96	96
資材倉庫床面積(m ²)	213	213	213	213	213	213	213	213	213
工場・作業所床面積(m ²)	182	182	182	182	182	182	182	182	182
総敷地面積(m ²)	757	757	757	757	757	757	757	757	757

7) 推進組織図



2. 環境経営方針

環境基本理念

当社は建築・土木を主とする建設業を営む会社として、環境保全の重要性を認識し、私達の住む住環境と自然との共生を図りながら環境保全及び環境負荷の軽減を積極的に推進し、より良い地球環境を実現するために会社一丸となり努力します。

環境基本方針

1. 建設工事の事業活動による環境へ与える影響を低減するため、過去の環境負荷を踏まえ、次の活動を実行し、継続的改善に努めます。
 - ① 電力・燃料などの節減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 廃棄物の分別の徹底及びリサイクルを推進し、廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め、水資源使用量の削減に努めます。
 - ④ 工期短縮及び無事故に努めます。
2. 当社に適用される環境の法規制及び当社が同意したその他地域との取決め事項を遵守します。
3. 地域の社会貢献活動に積極的に参加します。

本方針を全社員に周知し、環境経営レポートで積極的に公表します。

2012年 3月22日 制 定

2015年 4月10日 改訂1

2020年 6月 1日 改訂2

一政建設有限会社

代表取締役 一政 重文

3. 環境経営目標

過去3年間の環境負荷及び環境への取組みの自己チェックから、短期(当年)及び中期(3ヶ年)の目標値を設定しました。

取組み項目 (目標項目)(単位)		実施区	年 度 別 環 境 目 標			
			基準値 (2018年4月～ 2021年3月)	2021年度 (2021年4月～ 2022年3月)	2022年度 (2022年4月～ 2023年3月)	2023年度 (2023年4月～ 2024年3月)
省エネ 省エネルギー 項目	1. 二酸化炭素排出量の削減(kg-co2)	全社	33,978.7	33,808.8	33,638.9	33,469.0
	①電力使用量の削減 (kWh)	事務所	5,311.7	5,285.1	5,258.6	5,232.0
		現場	4,200.3	4,179.3	4,158.3	4,137.3
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	4,004.8	3,984.8	3,964.8	3,944.7
		全社	8,205.1	8,164.1	8,123.0	8,082.0
	③軽油使用量の削減 (L)	現場	4,992.1	4,967.1	4,942.2	4,917.2
		全社	8,205.1	8,164.1	8,123.0	8,082.0
2 の 廃 棄 物 の 削減	①一般廃棄物の削減 (Kg)	現場	132.4	131.7	131.1	130.4
	②建設副産物の再資源化率向上 (95%以上)	現場	89.9% (269.3 t)	再資源化率95%以上		
3. 水資源使用量の削減 (m3)		全社	85.8	85.4	84.9	84.5
4 環 境 活 動 ・ 有 益 な 環 境 活 動	①工期短縮の達成	現場		工期短縮の達成		
	②無事故の達成	現場		事故0達成		
	③環境ボランティア活動の取組推進	全社	5回/年	5回/年	5回/年	5回/年

* 建設副産物の再資源化率は再資源化量÷総排出量×100
* 建設現場で使用する水は事務所から運搬するため、事務所で集計しています。

4.環境経営目標の実績

2023年4月から2024年3月までの単年度の実績は以下の通りです。

取組み項目		実施区	目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量(kg-co2)		全社	33,469.0	24,957.3	134.1%	○
	①電力使用量の削減 (kWh)	事務所	5,232.0	5,825.0	89.8%	×
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	4,137.3	3,325.5	124.4%	○
		現場	3,944.7	2,558.8	154.2%	○
		全社	8,082.0	5,884.3	137.3%	○
③軽油使用量の削減 (L)	現場	4,917.2	3,540.5	138.9%	○	
2 減の廃 削棄	①一般廃棄物の削減 (Kg)	全社	130.4	120.4	108.3%	○
	②建設副産物の 再資源化率向上 (%)	現場	95%以上	97.8% (791.7/809.2)	102.9%	○
3. 水資源使用量の削減 (m3)		全社	84.5	90.0	93.9%	×
4 環境活動 ・有益な	①工期短縮の達成	現場	工期短縮の達成	工期短縮の達成	100.0%	○
	②無事故の達成	現場	事故0達成	事故0達成	100.0%	○
	③環境ボランティア活動の取組推進	全社	5回以上/年	10回/期間	200.0%	○

* 二酸化炭素排出係数は、2019年12月公表の九州電力排出係数 0.344kg-CO2/kWhを使用しています。
* 二酸化炭素排出量には、建設現場等の購入電力・事務所及び建設現場等の灯油・事務所の液化石油ガス(LPG)は含まれておりません。
* 建設現場等の購入電力・事務所及び建設現場等の灯油・事務所の液化石油ガス(LPG)を含めた二酸化炭素総排出量は、26,937.6 kg-CO2です

5-1.環境経営計画の取組結果とその評価

取組項目	活動内容	責任区	取組状況	評価
・電気使用量の削減	①シュレッダー及びパンチャー使用後の電源オフを確認する	総務部門	パンチャーの電源オフ忘れが見られた。猛暑の為、エアコン稼働率が高くなり、電気使用量の増加が見られた。電気使用量削減の意識は継続している。	○
	②空調温度適温化の徹底			△
	③エアコンフィルターを定期的に清掃する			○
・化石燃料使用量の削減 1.ガソリン 2.軽油	①不要な荷物等を載せたまま走行しない	工事部門	本年度は、ガソリン・軽油の使用量の削減が実施できた。その要因として、工事の受注内容と思われる。本年も重機の定期点検・始業前点検を実施し、各現場で下請け業者を含め記録している。	△
	②積載量の遵守			○
	③重機の定期点検・始業前点検の徹底			○
	④各車両の走行距離の記録	総務部門		○
・一般廃棄物の削減	①必要以上のカタログを取り寄せない	総務部門	カタログ収集は電子版にて実施し、カタログは必要以外は取り寄せなかった。	○
	②カタログは電子版にて収集するよう努める			○
・建設副産物の再資源化率の向上	①建設現場で発生する混合廃棄物を分解し、リユース・リサイクルに努める	工事部門	再生資源化率は、本年度は目標達成出来た。多量の建設廃棄物を排出したが適正な分別処理を継続している。又マニフェスト管理は守られている。端材等の再利用も守られている。	○
	②マニフェストによる処分方法と量の確認(できるだけリサイクルできる業者へ依頼する)			○
	③建設資材の使用数量を確認し、残余資材防止に努める			○
	④端材は持ち帰って保管し、再利用を推進する			○
・水資源使用量の削減	①定期的な漏水点検	総務部門	雨水利用は継続しているが、現場使用したシート清掃で水資源使用量が増加した。	○
	②雨水利用			○
・工期短縮の達成	①月末の工事進捗確認	工事部門	月末の工事進捗は実施工程と比較し行った。又建築の現場においてフォローアップを行い工期内に完了した。	○
	②必要に応じたフォローアップの実施			○
・無事故の達成	①KY・安全教育の実施	工事部門	各現場共、KY・安全教育及び現場安全パトロールを実施した。	○
	②現場安全パトロールの実施			○
・環境保全の取組推進	①事務所周辺の清掃活動	総務部門	現場周辺及び現場事務所周辺の清掃は徹底している。又、建築現場内の草刈・清掃活動を行った。環境関連ボランティアとして植樹、清掃等の参加も継続して行っている。	○
	②現場周辺の清掃			○
	③環境ボランティア活動参加			○
・化学物質の取り扱い	①SDSを整理し、管理する。	総務部門	建設現場で床塗料材が水性で、作業上及び環境上共に有効であった。	—
	②接着剤、防水剤、塗料等に含まれる有害性の化学物質の削減に努める			○

環境活動写真

現場等における環境対策

現場周囲の草刈り



解体時散水状況



現場周囲の側溝清掃



水性塗料塗布作業



室内濃度測定



環境ボランティア参加



5-2.次年度の環境経営目標、環境経営計画

化石燃料使用量が削減できたため、二酸化炭素排出量削減の目標達成率が上回った。
但し、電力使用量及び水資源使用量は、増加した。
解体工事で発生した建設副産物の分別は適切に行っており、再資源化率が目標を上回ったことは大いに評価できる。
本年度も建設業界を取り巻く厳しい環境の中のスタートとなるが、初心を忘れることなく、環境活動を継続していくものとする。

取組み項目		環境経営目標	目標を達成するための具体的な活動内容
1・二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	40340.1 kg-CO2	省エネの実施
	①電力使用量の削減	7114.1 kWh	①シュレッダー及びパンチャー使用後の電源オフを確認する ②空調の適温化【冷房(7月～9月)28℃程度、暖房(11月～3月)22℃程度】を徹底している ③エアコンフィルターを定期的に清掃する
	②化石燃料使用量の削減	ガソリン	①現場への乗り合いの実施
	②-1.ガソリン ②-2.軽油	6939.8 L 軽油 8061.6 L	②積載量の遵守 ③重機の定期点検・始業前点検の徹底 ④各車両の走行距離の記録
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	131.1 kg	①必要以上のカタログを取り寄せない ②カタログは電子版にて収集するよう努める
	②建設副産物の再資源化率向上	リサイクル率 95%以上	①建設現場で発生する廃棄物を混合廃棄物にしないよう努める ②マニフェストによる処分方法と量の確認(できるだけリサイクルできる業者へ依頼する) ③建設資材の発注時における数量チェックの確認を徹底する ④端材は持ち帰って保管し、再利用を推進する
	③水源・減水・水量	水資源使用量の削減	94.1 m3
			①水道配管からの漏水を定期的に点検する ②雨水利用
4・有益な環境活動	①工期短縮の達成	工期短縮の達成	①月末の工事進捗確認 ②必要に応じたフォローアップの実施
	②無事故の達成	事故0達成	①KY・新規入場者教育・安全教育の実施 ②現場安全パトロールの実施
	③環境保全の取組推進	5回/年	①事務所周辺の清掃活動 ②現場周辺の清掃 ③環境ボランティア活動参加
	⑤物質・化学取	化学物質の適正な管理	適正管理を実施する
5・物質・化学取			①SDSを整理し、管理する ②接着剤、防水剤、塗料等に含まれる有害性の化学物質の削減に努める

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環境法規制等の名称/略称	遵守チェック日		
	2023年7月	2023年11月	2024年3月
廃掃法	○	○	○
建設リサイクル法	○	○	○
建築基準法	○	○	○
浄化槽法	○	○	○
フロン排出抑制法	○	○	○

＊当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的に協会情報及び関連ネット情報で確認しています。

尚、関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局からの指摘、及び地域住民からの訴訟もありませんでした。

現場での遵守状況は、安全パトロールや安全会議時などで確認しています。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し事項	2023年度の社長評価と見直し・結果
①環境方針	・基本方針の大きな割合を占める電力・水資源において、本年度も課題が見られたので、環境方針は現状を維持することとする。
②環境目標	・本年度は重機を使用する大きな土木工事の受注が無かった為、軽油使用量が減少した。電力使用量は昨年同様、年間通して目標値を上回った。又、水資源使用量も同様に目標値を上回った。但し、二酸化炭素排出量が目標値を達成できたことは評価できる。厳しい建設業界で環境経営活動を進めていく上で課題はあるが一つずつ進めていってほしい。
③現場活動計画	・建設副産物の再資源化率が97.8%となり、建設現場等で発生する廃棄物を分解し、リサイクルに努めた結果で大いに評価できる。今後も分別を徹底し、さらに目標に進んでほしい。 ・各現場のKY活動及び社内安全パトロール等により安全に対する意識が高まっているので、活動を継続していく。
④環境関連法規等の 取り纏め及び遵守 状況について	・常に最新の情報収集をし、すべての法規は遵守しているので、次年度も安全パトロール等で遵守状況等について確認していくものとする。
⑤実施体制	・運用した結果、問題無しなので、現状維持とする。
⑥取組状況の確認及び クレームについて	・今年は建築工事が庁舎内、公営住宅内及び学校施設内等で、工事への理解と協力を常々お願いし、苦情も無く安全に完成できたことは大いに評価できる。 ・今年も環境取組の自己チェック表により、取組状況を数値で把握することが出来たので、今後も活動を継続していく。
⑦その他全般について (環境ボランティア)	・本年も植樹祭及び清掃活動のボランティアに参加した。又受注した工事現場内の清掃活動等も各現場実行されていることは評価出来る。